

ほけんしつだより 3月号

保護者のみなさまへ

令和6年3月7日発行 No.9

八鹿小学校 保健室

令和5年度学校保健委員会の報告

去る2月21日(水)学校保健委員会を開催いたしました。概要を報告させていただきます。

<八鹿小学校の子どもたちの健康状況 報告>

- ◆市内平均より肥満の出現率が高い。
- ◆コロナ禍でみられた肥満の増加や視力の急激な低下、口の中の汚れ(歯垢や歯石の付着状況)については昨年度に引き続き改善の傾向。
- ◆体力テストの結果は、6年男子、4~6年女子は多くの項目が全国平均を下回っている。
- ◆情報機器アンケートからは、ほとんどの学年で利用時間が長くなっているとわかった。一方で昨年度に比べて家庭でのルール決めや、それを守る指標が向上している。情報機器を上手に使うことを目指した指導を継続する。
- ◆今年度5月から、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が変わった。令和2年春以降、発熱等の体調不良による欠席数はごく少ない状況が続いていたが、今年度は大幅に増加した。インフルエンザもA型・B型ともに流行し、学級閉鎖は8回を数えた。
- ◆食育について、給食は実際の体格を基準に適量の配缶を目指している。「お弁当の日」など体験を通して食に関する力をつけさせる取り組みを行っている。



<参加者>

内科校医: 國屋正史(内科)

歯科校医: 西村歯科・原 真理

PTA 役員: 会長、副会長

学校職員: 校長・教頭・保健担当・体育担当
生活指導担当・食育担当

<意見交換・感想・指導事項>

歯の健康について

- ・乳歯のおし歯は「どうせ抜ける」と放置していると、永久歯をおし歯にしてしまう。処置が必要。生えたての永久歯は弱い。強く育てていくという意識を持つことが大事。食べ物(栄養素)というよりは、フッ化物入りの歯みがき剤を使うとか、フッ素塗布を受けるとかで歯質を強化することができる。(歯科校医)
- ・歯みがきをしっかりと口の中を清潔に保つことは認知症予防の観点からも重要視されている。(校医)



食育の手作り弁当の取組について

- ・平日の朝、登校・出勤までにお弁当を仕上げるのは本当に大変。休日と一緒にご飯を作る等でも良いのではないかと(PTA 代表)
- ・ご協力に感謝。家庭の状況に応じて、無理のない範囲でお願いしたい(食育担当)

裏面に続く

体力作りについて

- ・低学年のうちには特定のスポーツよりも感覚の育成が大切。跳ぶ、はねる、乗る、転がるなど、“ゴールデンエイジ”と呼ばれる時期に様々な身体感覚を体験させ、身につけさせることが、後の運動能力の向上につながると言われている。体育の授業ではそこを重視している。(体育担当)
- ・体力の評価(テスト)が陸上競技に偏っているという指摘を頂いた。水難事故から命を守る観点から、泳力の把握も必要ではないかと。6年間を通した指標をなども考えていきたい。(体育担当)
- ・以前は身体を使う遊具がそこかしこにあったように思うが、次々に撤去されていった。事故が起きて、管理責任を問われないようにという大人の都合が優先されているように感じる。今の子どもたちは「とにかく危ないことはだめ」と制限されている。(PTA 代表)
- ・安全優先は致し方ないのではないかと。昔は危ない遊びをしていた。大けがをして医師にかからずに治して腕が動かないような子どももいた。それはやはり避けたい事態だ。(校医)
- ・雨の日に、子どもがのびのび遊べる場所があれば良いと感じている。(PTA 代表)

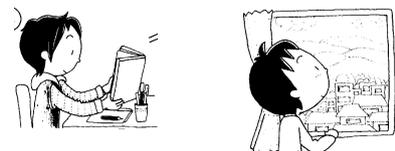
情報化社会と子どもたち

- ・子どもの SNS のやりとりを親が把握しきれない。親と子どもがコミュニケーションをとることが大切だ。(納得のルール作り)。また、オンラインゲームについても、リアルが楽しくなっていけば、ゲームの世界への没入を防ぐことができる。子どもの生活への干渉は威圧ではなくて、(親子の)良いコミュニケーションを図りたい。SNS の怖さなども上手に伝えていかなければならないだろう(校医)



視力の変化について

- ・以前から人種による特性(アジアに近視が多い)や、勉強など近見作業との関連は指摘されていた。年齢と共にある程度悪化するのには致し方ないとも思う。姿勢を正すとか、遠くを見るなどの指導により悪化を遅らせる必要がある。(校医)



環境衛生検査

- ・昨年度末、天井の照明器具が LED 化されて校舎内がずいぶん明るくなった。換気も習慣化されていて、教室内の空気は基準内の良い状態に保たれている。
- ・手洗い場の下のスペースが(湿気で劣化し)不衛生になっているのが気になった。今後の改修項目として検討してほしい。(学校薬剤師・紙面参加)



PTA 役員の皆様には、会議に参加して下さったり、紙面にてご意見をお寄せ下さったりと、保護者の生の声を聞かせていただきました。ありがとうございました。協議の内容や、頂いた意見は今後の取組に生かして参ります。

保護者の皆様には、一年間、学校からの様々な提案や依頼に添えていただきました。お忙しい中でもご理解・ご協力いただいたことに感謝申し上げます。

子どもたちの健やかな育ちのために、学校と家庭、さらには地域の皆様との連携を深めていくことが必要不可欠です。今後ともよろしく願い申し上げます。